

南青協便り 第 228 号



南米産業開発青年隊協会会報

2024 年 0 8 月 10 日発行

Boletim n.228 Seinentai do Brasil : Edição 10 de agosto de 2024



1 8 0 0 メートルある世界最長のユクマンの滝 37～38 ページ
南大河州北西部、アルゼンチンとの国境であるウルグアイ川にある。

Salto do Yucumã : a queda mais comprida do mundo de 1800 metros, situada no lado nordeste do estado do Rio Grande do Sul, no Rio Uruguai que divide com Provincia de Misiones da Argentina.

目次(第 228 号) ÍNDICE(n.228)

表紙：1800メートルある世界最長のユクマンの滝 37～38 ページ

Salto do Yucumã : a queda mais comprida do mundo de 1800 metros, situada no lado nordeste do estado do Rio Grande do Sul, no Rio Uruguai que divisa com Provincia de Misiones da Argentina. 1

一、Índice 目次 2

一、Cerimónia do sufrágio pelos mortos 慰霊祭のお知らせ
Membro da edição – Yoshinari Soga 編集委員 曾我義成 3

一、齋藤信夫さん宅で咲いたイッペー・ロッシュ(IPÊ ROXO、赤紫イッペー)。富士宮市内の道端の花壇 4

一、会計報告 (5月分、6月分) サンパウロ 8期 長田譽歳 5

一、自分史(46)(47)(48) ポルトガル 10期 岡井よししげ 6～13

一、世界最古の湯治宿 サンパウロ 8期 長田譽歳 ... 14～17

一、トレード(Toledo) サンパウロ 8期 長田譽歳 .. 18～19

一、思い出、豚殺しのエピソード 茨城県鹿嶋市 8期 牧晃一郎 .. 20～25

一、ブラジルには言論の自由がない サンパウロ 9期 貝田定夫 .. 26～28

一、トランプはなぜ銃撃されたのか サンパウロ 9期 貝田定夫 .. 29～32

一、ブラジルに来たことを心から喜び感謝
アラサツバ 8期 丸谷良守 .. 33～34

一、九期生片岡高一さんの友達 ジュンジアイ 9期 荒木昭次郎 ..35～36

一、1800メートルある世界最長のユクマン滝
富士宮市 8期 志方進 37～38

一、シルクロードの地図と商品 39～40

一、アンチオキヤについて 8期 志方進 41

一、行ってみたいトルコの地図と世界遺産 8期 志方進 42～51

一、【編集委員】 【次号予定、お願い】 【お知らせ】 【編集後記】 52

【編注】 次頁の円光寺と金閣寺の写真は 2018 年の 192 号からの転載です。

Comunicamos referente a Cerimónia do Sufrágio pelos mortos em Enko-ji

慰霊祭のお知らせ

Membro da edição - Yoshinari Soga 編集委員 曾我義成

円光寺(金閣寺境内)での第14回南青協慰霊祭は来る9月15日、日曜日午前10時から開催予定です。尚、8月17日(土曜日)に会員有志で慰霊碑清掃を行います。参考に慰霊碑、円光寺の写真を添付します。

年々、慰霊祭参列者が少なくなり淋しくなっております。南青協会員家族、親戚、友人の皆さんに声をかけて参列して下さいようお願いいたします。将来は、親睦会、ピクニックを兼ねた慰霊祭に変えて行かなければ慰霊祭の継続は難しくなっていくのではないかと考えている今日この頃です。

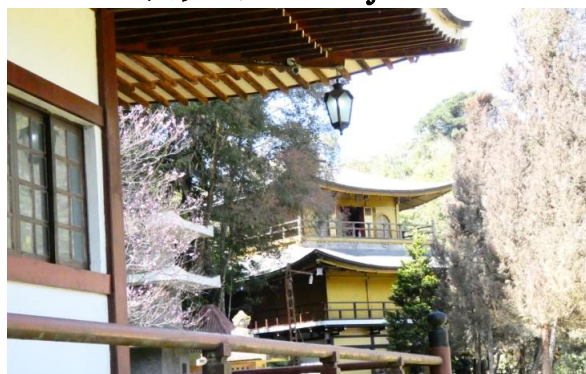
A Cerimónia será efetuada em 15 de setembro (domingo) e solicitamos a participação de todos com a família e os amigos para ter confraternização e a animação.



慰霊碑 Monumento funerário



円光寺 Enko-ji



円光寺から見た金閣寺
KINKAKU-JI visto do Enko-ji



斎藤信夫さん宅で咲いたイッペー・ロッシヨ (IPÊ ROXO) です。イッペーはブラジル在来種なのでインディオ語では YPÊ とのことです。見事に咲いて見応えがあります。



富士宮市内の道端の花壇 先号の花が枯れたので新植されました



南青協月間会計報告（5月分）

2024年5月31日迄

Data	Descrição	Débito	Crédito	Saldo
	4月よりの繰越分			28.310,94
23/Mai	年会費 7 期橋本勝徳氏(168)		200,00	
29/Mai	会報 227 号 Cópia	325,50		
29/Mai	会報 227 号 Correio	491,70		
30/Mai	年会費 9 期貝田定夫氏(259)		200,00	
31/Mai	年会費 4 期馬渡一利氏(81)		200,00	
	Rendimento		164,94	
	Total	817,20	764,94	28.258,68

南青協月間会計報告（6月分）

2024年6月30日迄

Data	Descrição	Débito	Crédito	Saldo
	5月よりの繰越分			28.258,68
12/Jun	年会費 6 期猪口光盛氏(115)		200,00	
17/Jun	年会費 8 期丸谷良守氏(231)		200,00	
30/Jun	年会費 7 期鈴木貞男氏(188)		200,00	
	Rendimento		751,81	
	Total		1.351,81	29.610,49

Bradesco の支店番号と口座番号 Extrato Conta Corrente Takatoshi Osada Agência 1480 Conta 0033226-7 Disp.P / Poupança			Agência 1480 Conta 33226-7 Takatoshi Osada CPF 698.506.588-00 CEP 04371-000
Total	Saldo	29.610,49	Cheque の送り先 Takatoshi Osada Rua Rishin Matsuda, 467 VI. Sta. Catarina Jabaquara - SP



自分史（46）

ポルトガル 10期 岡井よししげ

闘牛士といえば何と言ってもスペインですが、彼らに負けらず劣らずの有名なポルトガル人の闘牛士がおります。名前は **PEDRITO PORTUGAL**（ペドリット・ポルトガル）と言います。

Pedrito de Portugal（本名：Pedro Caetano Lino de Oliveira Filipe）は、ポルトガルの闘牛士として、その才能と技術、そして深い愛情を持つパフォーマンスで広く知られています。彼のキャリアと人生は、単なる技術の習得に留まらず、牛への尊敬と愛情を込めた情熱的なものであり、その背景には深い文化的意義が込められています。

以下は彼の経歴の詳細です。

早期の生活と訓練

Pedrito de Portugal は 1972 年 6 月 29 日にリスボンで生まれました。幼少期から闘牛に対する強い興味を示し、ポルトガルの伝統的な闘牛文化の中で育ちました。彼は家族や周囲のサポートを受けながら、闘牛士としての夢を追い続けました。1987 年、わずか 15 歳の時に闘牛士としてのキャリアをスタートさせ、各地で修行を積みながら技術を磨いていきました。

キャリアの始まり

1988 年、**Pedrito** はポルトガル国内でプロの闘牛士としてデビューを果たしました。初期の成功は彼の卓越した技術と大胆なスタイルを示し、すぐに注目を集めました。ポルトガル国内の主要な闘牛場で数多くの公演を行い、その名を広めていく中で、彼の技術だけでなく、牛への深い敬意と愛情も観客に伝わるパフォーマンスを披露しました。

国際的な成功

1994 年、**Pedrito** はマドリードの有名なラス・ベントス闘牛場でデビューしました。このデビューは彼にとって大きな挑戦であり、ポルトガルの闘牛士としてスペインの中心地でのパフォーマンスは特に大きな意味を持ちました。彼のパフォーマンスは観客を魅了し、特に彼の独自のスタイルと牛への敬意が評価されました。ラス・ベントスでの成功により、彼の名声は国際的なものとなり、さらなる飛躍を遂げました。

スタイルと技術

Pedrito de Portugal は特に彼の足での闘牛スタイルで知られています。彼の技術は繊細さと力強さを兼ね備えており、その独自のアプローチは観客を

魅了し続けています。彼は牛との距離感を絶妙に保ちながら、その動きを制御し、観客に感動を与えるパフォーマンスを披露します。彼の闘牛は単

なるショーではなく、牛との深い対話であり、彼の動きは牛への愛情と尊敬を表現しています。

現在の活動

Pedrito は現在も活躍を続けており、ポルトガル国内外で公演を行っています。彼は若い闘牛士たちのロールモデルとなり、ポルトガルの伝統的な闘牛文化を未来へと引き継ぐ重要な役割を果たしています。また、彼は闘牛の技術だけでなく、その文化的な側面を広めるための活動にも力を入れています。

受賞歴と栄誉

彼のキャリアを通じて、Pedrito は多くの賞賛と栄誉を受けています。彼のパフォーマンスはしばしば高く評価され、観客だけでなく、同業者や批評家からも称賛されています。彼の技術と情熱、そして牛への深い愛情が彼の成功の原動力となっています。

1994年のラス・ベントスでのデビューは、彼のキャリアにおいて特に注目を集めた瞬間でした。多くの観客が詰めかける中で、彼のパフォーマンスは大きな期待と緊張の中で行われました。彼はその場で見事な技術と勇気を見せつけ、観客から大喝采を浴びました。この成功はメディアによって広く報道され、彼の名声は一気に国際的なものとなりました。

Pedrito de Portugal の成功は、単なる個人のキャリアの頂点だけでなく、ポルトガルの文化的遺産を世界に広める重要な役割を果たしました。彼の名声と影響力は現在も続いており、彼のパフォーマンスは今後も多くの人々に感動を与え続けることでしょう。彼は牛との闘いを通じて、人間と動物の葛藤と共鳴を最高潮に高め、観客に深い感動を呼び起こします。

彼は「よっちゃん」と大の仲良しです。



ペドリットと私



ペドリットが戦っているところ



花束を抱えているところ



自分史 (47)

ポルトガル 10期 岡井よししげ

ポルトガルの闘牛の中には、「フォルカード」と呼ばれる特有のスタイルがあります。これは、スペインの闘牛とは異なり、馬や武器を使わず、若者たちが直接牛と対峙する方法です。フォルカードでは、8人の「フォルカドーレス」と呼ばれる若者たちが協力して闘牛に挑みます。

熱い太陽の下、ポルトガルの砂塵舞うアリーナには緊張感が張り詰めています。観客席からは期待と不安が入り交じったざわめきが漏れ聞こえます。アリーナの中心では、フォルカドーレスと呼ばれる若者たちが肩を組み、一丸となってその瞬間を待ち構えています。

牛がアリーナに現れた瞬間、一切の空気が凍りつくような静寂が場を支配します。砂埃が舞う中、勇敢な若者が一步前に出て、牛と対峙します。彼の瞳と牛の瞳がぶつかり合うと、そこにはただの獣と人間の対決以上の何かが存在しているように感じられます。互いの瞳の中には、恐怖と決意が混在し、まるで心の叫び声が聞こえてくるかのようです。

若者の心の中では、「今、ここで恐れを乗り越えなければならない。これはただの挑戦ではない、私たちの勇気と伝統を示す場だ」という強い決意が渦巻いています。一方で、牛もまた、この場の緊張を感じ取りながら、本能的に生き抜くための準備をしているのです。牛が一気に突進を始めると、若者はほんの一瞬の間隙を見つけてツノの間に滑り込みます。その瞬間、彼の心は「今だ！」と叫び、全ての恐怖を力に変えて行動に移します。周囲のフォルカドーレスもそれぞれの役割に集中し、一つの大きな目標に向かって力を合わせます。彼らの心の中には、「仲間を守り、一緒にこの試練を乗り越えよう」という強い絆と信頼が流れています。

その後の動きは一つの完璧な協調演技のようで、牛が暴れるたびに若者たちは瞬時に反応し、支え合いながら牛を制御します。この時、彼らの心

は完全に一致団結しており、一人一人が自分の役割の重要性を深く理解しています。それは単なる勇気の見せ場ではなく、共に苦楽を共有する仲間としての深い結びつきを感じさせる瞬間です。

牛の動きを制した瞬間みんなでパーツと牛から離れていきます。その時に5～6匹のおとなしい牛たちが入って来て、今若者と戦ったその牛を囲んで出口へと誘って出ていくのです。それから若者たちが観客席からの賞賛を浴びるためにアリーナを一回りするのです。フォルカードにおいて、一人の若者が牛のツノの間に身を投じる行為は、極めて危険であり、常に大きなリスクが伴います。過去には、この勇敢な試みが失敗に終わり、若者が牛のツノによって致命傷を負ったり、重い障害を抱えることになった例も少なくありません。



フォルカードレスの入場



牛を抑えている



牛と向き合う



抑え込む

牛はその巨体と予測不可能な動き、そして鋭利なツノによって、瞬時に命を奪う力を持っています。若者がツノの間に滑り込む際に完璧なタイミングを計らなければ、牛の一撃は致命的な傷を負わせることがあります。実際に、過去にはこのような瞬間にツノが若者の体を貫通し、その場で命を落とす悲劇も発生しています。

また、たとえ命に別状がなくとも、ツノによる深刻な傷や強烈な打撃は、後遺症を残すことが多く、若者がその後の人生を半身不自由な状態で過ごすことになるケースも報告されています。これは、フォルカードのみならず、すべての物理的な挑戦において考慮すべき重要なリスクです。

このようにフォルカードは、ただの勇気の試練ではなく、自らの生命を賭けた極限の対決であると言えます。その危険性と引き換えに、成功した時の栄光と観客からの称賛は非常に大きいのですが、その背後には常に深刻なリスクが潜んでいるのです。
ここに勇敢で大胆な若者たちに「よっちゃん」の作った詩を送ります。

勇敢なるフォルカドスへの賛歌

作 岡井よししげ

ポルトガルの大地に鳴り響く
勇気と誇りの叫び声
フォルカドスよ、その名は伝説
8人の戦士が立ち向かう

素手で挑むその姿
闘牛の猛りを受け止め
リーダーの心臓は鋼のように
その眼差しは未来を見据える

牛の角の間に身を投じ
頭を押さえ制する瞬間
協力者たちの力が結集し
舞台は勇気と力の饗宴

大地は震え、観衆は息を呑む
命の危険をものともせず
その技は神話の如く
勇者たちの心に刻まれる

フォルカドスよ、君たちの勇姿は
夜空の星の如く輝き
未来へと語り継がれるだろう
その名を、栄光を共に称えん

拍手喝采の中で立ち上がり
汗と血と涙の跡を残し
フォルカドス、君たちの名は永遠に
勇気と誇りの象徴として残る



「よっちゃん」はどうしてリオに6箇所も治療所があって大変盛況なのに、わざわざポルトガルに行ったの？とブラジルに帰って来る度に聞かれるので、それをいちいち説明するために、どうして行くようになったのかを振り返り、自分史という歴史を綴ってみることにした。

初めてアマンジオさんとポルトガルに行き、帰ってきた後、すぐにポルトガルの居住権を取るための手続きを開始した。一番良い方法は、現地の治療関係の仕事をしている人に労働契約をしている証明書があれば、文句なく居住権を取得することが簡単にできる。

しかし、現地にはそういった鍼灸や指圧関係の治療所が全然ないので、どうしようもない。それで **AUTÓNOMO**（自営業）として登録しなければならなかった。ともかく、最初にアマンジオさんに行った時に、ポルトの町に住んでいるアレシャンドレという人と知り合った。

彼はレンガ作りとバネの入った簡単な寝台を作っており、結婚して子供4人と奥さんのラウラさんの6人で暮らしている。彼は慢性の腰痛でとても悩んでいたのをアマンジオさんの紹介で知り合い、治療した結果とても喜んでそれ以来友達関係になり、私の居住権取得に協力してくれることになったのです。まあ、それは後のことです。

ブラジルに居て居住権を取るにはリオのポルトガル領事館でもやってくれるので手続きして、だいたい経ってから返事が来て却下された。理由はわからない。多分ただ居住権を取りたいだけの事で目的も定かでないのが理由かもしれない。それで再び現地に行って直接向こうで手続きをすることにした。

登録手続きをして45日以内に返事が来る規則になっているので、とりあえずポルトガル行きの切符を買って3ヶ月の有効期間があるので現地に行って手続きをする事にした。最初に行った時に知り合いになったアレシャンドレさんの家に厄介になることにした。なぜならばポルトガルに来たら必ず私のところに来なさいと言われていたのです。

彼の家は前の住人がある国の大使が住んでいたとの事でとても大きな家で5部屋があり、それに彼は使っていない事務所があってその事務所に厄介になることにした。手続きすれば後は待つだけなので別に何もする事はないので、この部屋で指圧をすれば時間も潰せるし、おまけに少しだけならお金にもなるだろうと思い、ご主人に事情を話して簡単な治療台を置いてそこで指圧することにした。

最初に家族全員の健康管理に指圧治療を提供し、指圧とは何か？どう感じるかなどを知ってもらうために家族みんなに指圧を施した。とても喜ばれて指圧というものを理解してもらった。ここで営業といってもモグリなので堂々と宣伝したりする事はできない。

新聞に一番小さい三行広告で「**TRATAMENTO DE COLUNA TEL:0000**」だけで住所も何も置かないで、どういう反応があるかを試したら、なんと時々電話をして申し込んでくる人がちらほらあったのです。有難いもので「芸は身を助ける」で結構暇つぶしみただけど帰る頃はきっぷ代以上に儲かったものです。しかし居住権は却下されたのでした。

ブラジルに帰ってから間もなくして弟子の一人が「先生！ポルトガルからポルト市の隣の町の市長さんがリオの恋人の所に来るそうで、その市長さんともう二人ぐらいの有力な政治家が来るので、その人達にポルトガルの居住権を頼んでみようか」と話してきた。

その市長さんの恋人を弟子が指圧でお世話していたという事で「よっちゃん」の事を話したら、全然問題ないよと心強く一緒に彼らと食事をしましょうとってくれた。間もなくポルトガルからご一行が来て約束通りに一緒に食事をしながら、そのついでに「よっちゃん」の居住権について尋ねたところ、それに関しては問題外、つまりそちらの方には詳しくないので分からないが、ともかくもう一度ポルトガルに来いと言われた。

彼らの言ったことを頼りにもう一度挑戦することにした。これで駄目なら諦めようと思い再びポルトガルに行った。ポルトガルのポルト市に着いて、アレシャンドレさんのところにもう一度お世話になる事になったが、とても歓迎されたので安心した。

さっそく市長さんのところに電話をしたら、「よく来たね～。一緒に昼食をしよう。そこに車を迎にやるからね～」と言われました。間もなく着いた車はピカピカのベンツの市長専用車でした。連れて行かれたレストランは **MARISQUEIRA** 専門で、海の幸がいっぱいの場所でした。そこには市長さんと例の政治家二人がいました。

挨拶をしてからすぐ出てきたのは **30** センチほどもある伊勢エビ (**LAGOSTA**)料理でした。見たことのない大きさでびっくりしました。それをお互いに豪快に食べ始めたのです。ぶどう酒は **VINHO VERDE** で有名な **ALVARINHO**、次に出てきたのは **SAPATEIRA** といってカニの一種で、胴が丸長でハサミが大きかった。

このカニを煮た後に取り出した脳みそにみじんきりの卵、ピクルス、マヨネーズ、マスタード、パン粉、ビールを加えて、よく混ぜて塩、胡椒で味付けしたものをトーストにこんもり乗せて食べるのです。よだれが出ま

すね～。最後に **ARROZ DE MARISCO** (シーフードライス) をなんとか食べて、最後に **SOBRE MESA** (デザート) とコーヒーで終わりです。

アレシャンドレさんには今回は指圧の仕事をしないうことにして彼に対してネゴシオ (仕事) を持っていった。それは寝台を作っている事なので **COLCHÃO ORTOPÉDICO** (背中に良い健康ベッド) を作る提案をして、一緒に作ることにした。さて、健康ベッドの原理は、マットの部分がフカフカではなく、少し硬いめでその表面には、小さい頃地面にてビー玉で遊んだ経験があると思います。

その小さなビー玉を半分にした大きさがベッド全体に張り付いていて、その部分がベッドで寝た際に体の筋肉に対して指圧をしたような効果が出てきて、血液の循環を良くし、健康に導くというものです。そのベッドを作る原板を作るために、プラスチックの柔らかいボールを買ってきて、それを一つ一つ丁寧に半分に切ってから、原板の上に貼っていったのです。1200個ぐらい使いました。



伊勢えび
LAGOSTA
ラゴスタと
その料理



カニの一種
SAPATEIRA
サパテイラと
その料理



1180年以仁王令旨奉じて源頼朝は平氏追討の兵を挙げ初戦は鎌倉近くの石橋山で敗れたが、追い手を掛け富士川の合戦で大勝する。

この時平軍の主将格の奈良本体は壊滅的な痛手を受け逃亡する。その一部は富士川を遡り、友好関係にあった甲斐の甲府を目指すが、身延の関所で甲府への入国を留め置かれる。

既に源平の戦の情報は入っているので、甲斐の武田家としても甲府に敗残兵を入国させる訳にも行かない。この時の武田家は信玄の時代より十何代も以前の昔でした。

其処で一計を案じ、早川の遙か上流に湯治温泉が有るので、其処で暫く静養を勧める。奈良の平家の敗残兵も其処で静養して、次期の闘いに備えるのが一番だと了解して早川を遡る。この早川は険しい谷川の川で、その源の源流は南アルプスの日本で二番目に高い北岳（3192m）と間ノ岳（3189m）、農鳥岳（3026m）の白根三山から流れ出る険しい急流です。

山梨県の甲府盆地内ではこの白根山が最も雄大で何処からでも見える険しい山です。私の生まれ故郷からは何時も正面に生えた神々（こうごう）しい山でした。

今では甲府盆地内に石和温泉郷が出来て、車でも東京から日帰りで来られるようになりましたが、以前は早川上流の西山温泉が山梨県を代表する温泉でした。病を治し、足腰、肩等の湯治温泉で、熱海や湯が原等の様な華やかな温泉では有りませんでした。

私が日本にいた60年前は西山ラジュウム温泉と言っていました。そこで病を治し、痛みをとる効果は大きいと思います。

私は昨年ほぼ一年間両足と両肩が同時に痛くなり医者の治療を長期に受けました。治療中医者の言うにはこの痛みは背中の下部の脊髄の損傷から来る痛みで完全には直らないと言われ、私もその覚悟をしました。

これは病との長期戦だと思い、その覚悟で朝夕二回欠かさず10分間の正座を風呂の湯船の中でするようになり、以前から行っていた物理療法も丁寧にするようにしました、その効果が現れたのか4箇月前より完全に両足と両肩の痛みが取れました。これには私も今迄の努力が実ったと神に感謝しました。

その後痛み止めの薬は全部止めたけど、少しの痛みも戻ってきません。ですから温水療法と物理療法は効果が有ると思い、毎日欠かさず続けています。

私は30年前に日本に行った時、実家の兄に連れられて、西山温泉の3Km上流の奈良田温泉に行きました。山梨県地図には奈良田温泉と記載されています。奈良田温泉は名の通り平家の落人が富士川の決戦で敗れて、落ち延びた山郷で、ひなびた静かな温泉宿です。奈良の敗残兵の行く先は西山温泉でしたが、奈良の将兵も数ヶ月もすると傷痕も順調に快復して、これからの活路を見出す為に周辺を隈なく散策しました。西山温泉の上流に少し平らな土地を見出し、その地に住み着く事にしました。

とりあえず此処を拠点にして時期が来たら出動する事に決め、奈良の家族を呼びこの地を拠点として、食料生産と狩をして生きる工夫をする。

山菜は沢山有り山深い奥山ですので、狩をして食料を調達する。

必要品は30Km下流の身延まで下りたら日蓮宗の本山が有るので、日用品は手に入る。そうこう散策している時にすぐ近くで噴出する湯を発見して、奈良田温泉と命名して、現在に至る。

奈良田の地は少し川幅が広く、砂利野原になっていて水量が安定しているので、山梨県ではその地に発電用ダムを造りました。

私の兄が奈良田温泉に行ったのはその東京電力西山発電所の所長を高校の同級生がしていて、一度来てくれと言われたからです。その時に兄は57歳でしたのでその友人も停年間際で最後の仕事場でした。

その西山ダムも私が行ってから既に30年が過ぎます。そのダムの上流は急傾斜の山肌から流れ落ちる砂利、岩石でダムサイトの内側の貯水曹の殆どが砂利で満杯になり、水の落下地点の上側に300平方メートル位の水溜りに成ってしまいました。今は水の圧力が小さいので発電量も以前に比べたら相当少なく成ったようです。それに発電タービンの羽の損傷も酷いといわれます。

その奈良田温泉のすぐ上が白根三山の登山口ですので、夏山の行き帰りの登山客で一杯になり、生活も楽に成りましたが、家族数も増えたので白根三山の早川の谷川を挟んだ反対側の大きな楕形山(2052m)と甲府盆地

が一望できる南側に移り住み、平林と命名して一つの部落が生まれました。

終戦後すぐに都会地の木材不足で楡形山を縦断する野呂川林道が開かれ平林の近くを通り抜けました。その地で栽培していた抑制果菜類のトマト、ナス、キュウリやキャベツを東京市場に出し順調に売れ、一躍陽の目を見る様に成り生活も安定しました。

9期の樋口氏の実家からは一時間で行けるので数回行った事があると言われる。私の実家の兄嫁は樋口氏と同じ町の生まれで高校も同じですが歳が少し離れているので会った事はないようです。

私の兄は公共の設備関係の仕事をしていて、多くの人と会う機会があり、家の息子の嫁を世話してくれと頼まれ20組の夫婦の世話をしたと言います。兄嫁は顔が広く次ぎから次へと旨く世話したようです。

2年後の2026年に次女夫婦と三女夫婦と私と女房6人で日本に行く約束をしています。その夢が叶ったら是非西山温泉の慶雲館に行って温泉に浸り、山菜を食べようかと思っています。この世界で最も古い湯治宿を探し出したのは三女マユミの夫に其れを言うと是非行こうと言われました。

慶雲館		ホテル概要	
		階数	- 地上4階
		部屋数	35室
		開業	慶雲2(705)年
		最寄駅	JR身延線身延駅・下部温泉駅
		最寄IC	中部横断自動車道下部温泉早川IC
		所在地	〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
		位置	 北緯35度33分16.4秒 東経138度18分21.8秒
		公式サイト	公式サイト
			テンプレートを表示

慶雲館（けいうんかん）は、山梨県南巨摩郡早川町の西山温泉にある旅館（温泉宿）である。『ギネス世界記録（ギネスワールドレコーズ）』によって、世界最古の宿泊施設として認定されている。

日本の企業としては金剛組（578年創業）、池坊華道会（587年創業）
に続く3番目に古い企業です。

Nishiyama Hot Spring, Hayakawa-cho, Minamikoma-gun,

Yamanashi Prefecture 409-2702

TEL. +81-556-48-2111 FAX +81-556-48-2611



スペインのトレード(Toledo) サンパウロ 8期 長田譽歳

私の三女マユミがスペインの大学で社会学研究員として留学し終わった時、私と女房にヨーロッパ旅行に来ないかとさそわれる。その時は既に私は仕事も切り上げて暇になっていたの二人で出掛けました。

20日間の予定で最初5日間はスペイン国内を旅行しました。マユミが住んでいたのは首都のマドリッドでしたので、旅行第一日目は昔栄えた旧都のトレードでした。

会報227号(6月10日発行)の岡井氏の文章を読み、スペインのマドリッドで闘牛場に行く予定が間違えて旧都トレードに行ってしまったことを読み返して、私も良かったと思っています。ヨーロッパの国の中ではスペインは国土が広い方で南部のセビリヤから北西部のバルセローナと華やかな観光名所がありますが、トレードの街は観光客を引き付ける街だと思います。

私達が行ったのはマドリッドの中央鉄道駅から快速電車で一時間弱でした。殆どの乗客が観光客で終点駅から深い谷の向こうにかけてのアラゴン王国の城跡に出ると早速ドンキ・ホーテの歓迎を受ける。

このドンキ・ホーテは架空の小説上の人物ですが、何となく昔の騎士に出迎えられたような錯覚を受け、早速ドンキ・ホーテと記念撮影。小さな城址ですが時代を感じさせます。カテドラウは大変立派なものです。

街の中央通は石畳で狭く両側の店は石造りの昔のままです。車もこのメイン・ストリートには入れません。これほど中世期の昔の姿を醸し出している街は他に見られません。昔の奈良の都も、オランダのアムステルダムも比べ物になりません。

ブラジルのパラナ州のグアイラの近くにトレードという街があります。あの街はスペインのトレードから来た人が開いた町ではないかと考えます。そのトレードの町にはPUCの農業大学があり、10期の福本浩明氏の娘さんはその大学の先生だと思っています。福本氏は今トレードに住んでいると思います。

私達の20日間のヨーロッパの旅も全て順調に進み旅行最後のマドリッドの空港で荷物検査も無事終わり、残務整理が残っているマユミに「有難う良い旅だった」と別れの抱擁と挨拶をして待合室に入る。

暫く休憩して場内放送で機内登場手続きが始まり列に並ぶ。航空券と本人の確認の簡単なチェックで次から次へと飛行機内に向かう。私と女房の

番に来た時その流れがピタリと止まり、年輩の担当者が難しい顔をして私達の顔を見て、航空券を見て首を傾げる。そしてその係員は何も言わずにその場から奥に歩き去る。

私達の列の後ろに並んだ人達は私達2人を疑わしい眼で見る。私も心配になり、マユミが未だ近くにいるか見に行く、外を見回してもマユミらしき人はいないのでまた元の位置に戻ると、直ぐにそのチェックインの担当者が戻って来てOKと言って小さくつぶやくようにファースト・クラスと言って航空券を私と女房に渡す、我々はやれやれと思いながら飛行機内に向かう。

後列の人々は我々を疑わしい目で見上げる。私の直ぐ後ろにいた30台のブラジル人の男性が、私がゆっくり歩いているので、苛立たしい思いで私の横を追い越す時にさも軽蔑した顔でエックスキュウズ・ミイと言って機内に入って行く。私が機内に入る時何時もは右側に曲がって入って行くのですが、2人いたスチュワーデスの一人がチケットを見て、どうぞ此方にと左側に案内する。其処は操縦室の直ぐ後ろの10席位のゆったりしたファースト・クラスの席。どうなっているのか良く分からないけどスチュワーデスの言う通りにする。2人でゆったりした席に座らせられ説明を受ける。

私と女房の間には色々の操作のボタンの付いたパイネウ(painel、パネル)が有り、その一つのボタンは背中マッサージ。食事豪華で食べきれない。飲み物もウイスキーからブドウ酒、シャンパンと沢山あるけど私はビールを注文する。食事も終わり、少し背中がこっているので背中のマッサージをする。

これは良いと思い暫くして止めようとしてボタンを押すが、止まらない。

スチュワーデスが来たので、止まらないと言うと、これはボタンを止まるまで押し続けると言われる。まったく困ったものだと思い、女房を見ると借りてきた猫のようにニャンとも言わない。

しかし帰りのスペインのマドリッドから8時間のサンパウロまでのファースト・クラスの旅は今考えても一生の良き思い出です。後日早川氏にそのことを話すと、其れはOver Bookingと言って、エコノミークラスが満席なので、運が良ければファースト・クラスに差額無しで乗れると言われる。



思い出

茨城県鹿嶋市 8期 牧晃一郎

うわさ その1

訓練所生活初めての雑作班に居た頃に聞いた話です

側溝を掘る作業中に中途半端の時間になり面倒なのでやりきりの請負作業に切替えて、そのまま続ける事になり側溝掘りに熱中している時に起きた事故で、側溝の中でリズムよく進行中に足を滑らしたのか遅れを取った仲間の尻部に鍬を打ち込む事故が起き、慌てて薬箱を持った仲間が駆けつけ寝込んでいる仲間を見るなり

「こりゃーだめだ。こりゃー死ぬわ」と言ったものだから

伏せて寝ていた仲間は「こんな山の中で死にたくない」と言って声を上げて泣いたものらしい。

部屋の隅で静かに座っていた仲間の1人が「こんな山の中で俺は人を殺(あやめ)てしまった」と言ってこれまた声を上げて泣いたそう。軽い冗談で言ったのかもしれないが反省をしたに違いない。

殺めてしまったという言葉は九州地方ではあまり使用しないのです。大声をあげて泣ける心のおおらかさを感じ取れるし寡黙で、朴訥な青年群像は多分東北隊員ではないかと思っていますが何期生の先輩グループか知りたいものです。

うわさ その2

雨期の増水の頃の話です

稲穂の穂先だけを刈り取り大きなイカダに積み込んでいた頃に起きた事故です。時期は定かではないのですが私の日課である野菜を届けての帰りジープかトラクターで帰って来たのかははっきりしないのですが3人で肩を組み、手は腰をしっかりと支えながら、ゆっくりと私の前を隊舎に向かって歩いている先輩がいて思わず声をかけると「水田に入る途中滑って腰を強打し痛めたが4～5日休んでいたから元気になるから心配しないでくれ」との事、私は「お大事に」と声をかけ野菜畑に・・・

やがて年が明け彼ら先輩達のグループが訓練所を出て新しい夢に向かって旅立ちをしたとのうわさを聞き、我々もあと少しで山を出る日は近いと感じていた頃、あの時の先輩の噂話を耳にしたのです。現場の隊員から箒口令が出ていて真意はかたくなに伏せられていた真意は岸边に流されてきた泥だらけの蛇が休んでいた所を流木と間違え足の踏み台にして渡り、3、4人渡った所で蛇が気が付き左右に大きく波打って去って行った。

気のどくにもまたいだ青年がそのままぬかるみに腰を沈めて立ち上がる事が出来なかったそうです。

私だって大きな蛇に玉、玉撫でられたら腰抜かすこと間違いない。

若き頃のあの隊員への配慮・気配り・アッパレと思っています

何期生のグループだったのか気になるところです。

豚殺しのエピソード

入所時 23 歳の若僧の頃の思い出です

訓練所生活 3～4 カ月の頃の野菜畑の当番で毎日生野菜を食堂に届

けての帰り道突然同期の坂本さんから声がかかり

今日夕食の肉がないので急に豚殺しの役が 10 班に回ってきたのだ

急いでパストの山下君に事情を話すと彼は乳牛の世話をしてすぐ行

くとの事同室の小山君に連絡すると彼「今モーターのコイルを

巻いている協力は出来るが今晚は停電だ」と言うのだ

事情は分ったそのまま続けてくれと言って坂本さんに事情を説明し

た所、先輩の金子氏と同じ 7 期生のハンサムボーイ(?)の 2 名が協力

してくれる事になり八期の坂本 谷口 山下 牧との 6 名で作業は

始まった。

作業台がある場所へ行って驚いた！なんと100～120キロはあり
と思われる繁殖用の老いた豚が作業台の足に繋がれているではな
いか尻には黒スミで大きな丸の印が付いていた勤めを果たした繁殖
用のメス豚だった

私はドラム缶2個用意し、ひと缶は水を後ひと缶には湯を用意し

作業は始まった。

「山ちゃん一発で決めてくれ」と私、山下君、仕方なくハンマー
(マサカリ)を持って「牧よ雑草をちぎって水をかけてそれに塩をふり
かけ、豚の鼻先に向けてくれ」とのこと。

豚の鼻先に雑草を伸ばしたところで急に音もなく倒れたのだ。

一発でお見事だった。

急ぎ全員で豚の頭を下方に向けた所で金子先輩が見事に心臓をさし
て血は元気よく噴き出してバケツの中に・・・

暫くして「ヨッシャー」と金子先輩の元気な声と共に全員で作業台に
豚を引き上げ汚れた全身を洗い流した所で坂本さんの大きな声で

「牧よ熱湯をかけてくれ」との声、私は力を入れて熱湯をぶっかけた
その時作業台が真白き霧に包まれその霧のカーテンの中からギャー
ギャーと豚の悲鳴と共に驚いた私の手からバケツが離れ、熱湯と共
に豚の腹の上へとびこみ！慌てて作業台の左側に伏せた金子先輩

「タタリジャー！」の声と共に「あつ、熱、熱」同時に右側に伏せた山下君の声も「熱、熱、熱」と続き伏せている背中と下半身にバケツが転げ回って「牧よぬしゃー(御主)」「どげんしとっとか、どげんなっちよるか、へげんとば」だもんな。

私は体が硬直したのか「初めてたい、やるせなかと、せつなかと」

山下曰く「どぎゃんことがあってもバケツは放すなよ。それにな俺は真っ白な霧のカーテンを見たとき危険を感じ作業台脇に伏せた。

そしてガタガタの音と共に作業台の上で豚の頭が舞とっつよ

途端にバケツが残り湯と共に俺の背中を走りやがったのよ」

後日談になるが谷口君の話では白いカーテンの中から豚が転がるように落ちてきて同時に霧がさっと消えた先に牧がこちらを見ていたとのこと。私も坂本さんと谷口君が直立不動の姿勢で立っていたのを見ていたのだ。

牧よ急いでくれ料理の時間がないと坂本さんの声、豚の頭の二度目のたたきは私がやったけどグニュといった鈍い嫌な感じの音だった金子先輩の二度目の刺しでバケツ半分位溜まった血を見た感じでは明らかに初めの血抜きが甘かったと思われた。

その後の作業は早かった。解体が始まった頃広い田畑の中から夕食の時間に向けて多くの従業員と共に帰ってくるトラクターの音が聞こえて来て坂本さんがあわただしく先輩のハンサムボーイを呼び出して足を広げる指示をして周りをファッコンで切り開き関節が見えろとすぐさまマサカリでその関節を打ち切り肉を切るのではなく引きちぎった状態でそいつを背中に担いで谷口君と消えて行った
残った 4 人であと片付けが終わった頃には北斗七星が輝くきれいな
星空だった。

歌の文句の「死んだはずだよ、お富さん」ではないけれど、
人間でも豚でも生きて帰って来られたら、たいがいあわてるで。



ブラジルには言論の自由がない

サンパウロ 9期 貝田定夫

イーロン・マスクがブラジル最高裁のモラエス判事を「辞任するか弾劾により罷免されるべき」、と厳しく批判した。これは、モラエスがソーシャルメディア X を執拗に検閲していることに対するマスク(Xの所有者)の怒りである。

マスクはアメリカの有名な企業家で、世界第三位の大富豪でもある。彼はテスラとスペース X の創業者兼社長であり電気自動車と宇宙開発で成功し、その他多くの企業の創業者を兼ねている超人的能力を持つ人物である。また 2022 年にはソーシャルメディア大手のツイッター(現在は X)を 440 億ドルで買収し、「言論の自由のメディアにする」と宣言した。これらのことから、マスクの言動は世界中で注目されるようになっている。

この始まりは、2024 年 4 月、マスクが自身の X 上にモラエスへの批判を始めたことだった。「あなたは何故ブラジルで極度の検閲を行うのか」と書き込み広く知られることになった。

ルーラ政権の意向を受けたモラエスが、特定の政治家やジャーナリストの X 上のアカウントの停止や凍結を命令している。さらに最高裁の命令であることを知らせてはならない、とも指示している。マスクは「全く法律違反であり、モラエスによる制限を全て解除する」と宣言した。加えてツイッター時代に凍結されたものまで解除することを仄めかし、徹底的に争う構えを見せている。

これに対してモラエスは、最高裁が停止を命じたアカウントを再開するなど止めるべきだと述べ、司法への妨害と偽情報拡散で捜査すると発表した。

さらにモラエスは、最高裁が禁止および検閲するよう要求したアカウントが再開された場合、X に 2 万ドルの罰金を科すと脅し、傲慢な態度を見せている。

最高裁の一判事に過ぎないモラエスがなぜ独裁者の如く振る舞うことが出来るのか。それはルーラ政権と連携して独裁体制を作っているからであり、大多数の最高裁判事が容認している。モラエスは強権を振るい反対勢力を徹底的に弾圧している。

マスクによると、ブラジルの X 社の社員は「逮捕されるかもしれない」、とその筋から告げられたという。そのため社員を安全な場所に移動させるか、責任ある立場から外すか、何らかの安全策を取らねばならない、と述べている。

情勢が険悪になっていることを知ったマスクは、「モラエスが要求した全ての内容と、それらがブラジルの法律に違反していることを公表する。彼はブラジル憲法に違反し、国民を繰り返し裏切ってきた、弾劾により罷免されるべきだ」と怒りを露わにしている。

ここで付け加えておきたいことは、グーグル、ユーチューブ、フェイスブック、インスタグラムなども X と同様に検閲されているが、モラエスの命令に従っている。しかし、X に関してはマスクが「もう我慢できない」としてモラエスと争うことになった。マスクの「言論の自由」を守ろうとする強い決意が見られる。

マスクがモラエスの検閲を暴露したことから、ブラジルが独裁体制にあり言論の自由が失われていることが世界中に知れわたった。マスクは国際世論にも影響するほどの発信力があることを示している。

マスクが「言論の自由」をめぐるブラジルと争っていることが世界中に知られ、特別な関心を示したのがアメリカの下院司法委員会だった。アメリカの企業がブラジルで不当な扱いを受けていることに衝撃を受けたのであろう。マスクへ詳細な情報を要請し、調べた結果を同委員会の中間報告として発表した。

この報告書の主要部分を見ると、2023 年以降モラエスが X に対してアカウントの停止や凍結を命令したのは 150 件。これらはブラジル政府への

批判であり、保守系の議員、ジャーナリスト、司法関係者、ラジオ局などによるものである。ルーラ政権を批判する者は全て検閲の対象になっていることを示している。アカウントの停止や凍結の対象となった政治家には、ボウソナー前大統領を始めとして多くの野党議員の名が見られる。

2024年6月、アメリカのクリス・スミス下院議員がモラエス宛に書簡を送り、ブラジルにおける政治的な追跡・迫害や人権侵害について明らかにするよう要請した。スミスは下院人権委員会の委員長で、10日の期限付きでモラエスの返答を要求している。また彼の書簡は公開質問状となっていて、ブラジルの上院議長や下院議長などにも送られた。

スミスの主な質問事項は、モラエスの命令による政治家やジャーナリストなどへの言論弾圧と人権侵害があったのか。またブラジル政府のメディアに対する報道制限、資産の凍結、旅行制限などがあったのか。マスク所有のX以外にもブラジルで営業しているアメリカ企業に対して、不法な命令で脅したり罰金を科したことがあるのか、などとなっている。

実は、スミスがモラエス宛の書簡を送る3ヵ月前、ブラジルの国会議員数名がアメリカを訪問しスミスにブラジルの事情を伝えている。この時、ブラジルのマルセル下院議員がアメリカの議員達を前に演説した。要約すると「何百万人ものブラジル人が独裁体制のもとで苦しんでいる。言論弾圧、人権侵害が行われ民主主義が崩壊している。政治的な追跡・迫害を受けている者は数千人に及び、逮捕を恐れてアメリカに亡命している政治家、判事、ジャーナリストも数人いる。ブラジルの法律に反する不法な資産の凍結、銀行口座の開示、パスポートの没収などは数えきれない位になっている」。

スミスはブラジルの議員団からの詳細な情報と下院司法委員会の報告書により十分な準備の上モラエスに書簡を送っている。モラエスがスミスの質問に答えるか、それとも無視するかわからないが、スミスが人権侵害を重く受けとめブラジルに対して何らかの制裁をするのではないかと見られている。



トランプはなぜ銃撃されたのか

サンパウロ 9期 貝田定夫

7月13日、アメリカ東部ペンシルベニア州で演説中のトランプが銃撃された。銃声が聞こえトランプは素早く演台の裏に伏せた後、駆け付けた警護隊員達に支えられながら立ち上がった。そして、顔面に血を滲ませながら何度も拳を突きあげ「戦うぞ」と叫んだ。トランプの無事を見て会場は、「USA」を連呼し恐怖から一変して熱狂に変わっていった。メディアの報道によれば、まるでアメリカを救った「英雄」のような光景だったという。

動画をよく見ると、右側を向いたトランプの頭の後方に、銃弾の軌跡がごく細い白線になって見える。トランプが言うには、演説用に用意した掲示板を見ようと右を向いたその瞬間のことだったという。前を向いたままだったならば、頭に命中していたに違いない。間一髪の差で助かった。トランプは「死を免れたのは神のお陰」と言っている。

トランプの暗殺未遂は何故防げなかったのか、大きな疑問が生じている。写真で見ると、トランプは120メートル離れた建物の屋根から狙撃された。障害物は全く無く、狙撃するには絶好の場所である。警護のプロである大統領の警護隊(前大統領も警護する)が見逃す筈はないのだが、全く不可解なことである。120メートルの近距離まで銃を持った人間を近づけたことは警備の大失敗で、大きな責任問題になることは間違いない。

目撃者によると、「屋根の上を這う不審な人影を見つけ、ライフルを持った男がいるぞ、と言ったのに警察はよくわかっていなかったようだ」と語っている。不審な人間がいないか厳重に警戒している筈の警察が、観衆に言われるまでわからなかった。これも不思議に思えてならない。

もし、トランプを消そうとする勢力が現場の警護隊に、「トランプが撃たれた後に犯人を撃て」と指示していたとするならば、警護隊の行動に納得がいく。思いもよらぬ事実が隠されているのではないかと想像する。

共和党のジョンソン下院議長が、大統領警護隊のトップ、チートル長官(女性)の辞任を求めると言った。またトランプ銃撃事件の調査委員会を設置することも明らかにした。焦点は、銃撃した犯人がどうしてライフルを持って屋上に上がることが出来たのか、警護隊は何故対処できなかったのか、という点であろう。

チートル警護隊長は、バイデンが副大統領だった時代にバイデン夫妻を警護した経験がある。バイデンが退任してからは民間の仕事をしていたが、バイデンが大統領になってから呼び戻し長官に任命した。バイデンの並々ならぬ信頼を得ている。

トランプ銃撃の背景を語るには、2016年の大統領選の当時までさかのぼる必要がある。トランプを強敵と見た民主党は主要メディアと協力して、あの手この手を使ってトランプを悪人に仕立て上げ、大統領選から排除しようとした。その最たるものが「ロシア疑惑」だった。これは、「民主党のヒラリー候補を落選させようとして、トランプ陣営がロシアと共謀したのではないか」という疑惑である。

2019年、「ロシア疑惑」を捜査したムラー特別検察官は当時のバー司法長官に報告書を提出した。その内容は「トランプ陣営とロシアの共謀もしくは連携したという事実は見られなかった」というものだった。トランプは大統領に就任してからも疑惑の渦中だったが、これで一安心となった。しかし、疑惑の全容が解明された訳ではなく、納得しない民主党と主要メディアはトランプ攻撃を止めなかった。

トランプ政権は新たにジョン・ダーラムを特別検察官に任命し、「ロシア疑惑」の実態、特に民主党が何をしたのか捜査することにした。ダーラムは4年の歳月をかけて捜査し、2023年に最終報告が公開された。「ロシア疑惑」は民主党による捏造、即ち、でっちあげだったことが明らかになった。また2016年の大統領選挙中、ヒラリー陣営から「ロシア疑惑」の核心となった偽情報がメディアを通して流れたことも判明した。

これで「ロシア疑惑」に決着がついた、だがトランプは他に数々の民事訴訟や刑事事件を抱えている。2020年大統領選の結果を覆す試み、機密文書の持ち出し、不倫疑惑のもみ消し、性暴力疑惑など。これらのことが真実なのかそれとも偽りなのか、これからの審判を待たねばならないが、トランプを攻撃するための政治工作と見られるものがある。

「性暴力疑惑」とは、女性が27年前にマンハッタンの高級デパートの更衣室でトランプに襲われた、と主張している疑惑である。27年前のことが何故今なのか、本当だとしても時効になっているのではないか、27年前のことをどう証明するのか、疑問は尽きない。

トランプは「全く嘘で、メチャクチャな事を言っている」と非難した。すると誹謗中傷したとしてトランプを名誉棄損で訴えた。これが裁判となり陪審団が8330万ドル(約123億円)の損害賠償を払うよう評決を下した。性暴力疑惑がいつの間にか名誉棄損の裁判にすり替えられてしまっている。

判決は裁判官がするので陪審団の評決は最終的なものではないが、それにしても途方もない賠償金額は何を意味するのか。ニューヨークは民主党の支配地域なので、反トランプの陪審団がトランプに、「お前は黙っている」ということかも知れない。それにしてもアメリカ社会は狂っているとしか言いようがない。

トランプは、2016年の選挙以来今日まで8年間にわたって、民主党と主要メディアの攻撃に晒されてきた。彼らは「トランプは独裁者、民主主義の敵、排除しなければならない」を言い続け、「トランプは悪人」の印象を広めてきた。

6月28日、バイデンとトランプの討論会があったが、バイデンの弱々しい声、うつろな表情、言い間違い、ボケの症状がはっきり出ていた。身内の民主党から「バイデンではダメだ」の声が発せられ、民主党支援の

大物献金者からも撤退を迫られた。しかし、バイデンは止める気はなく、強い大統領を見せようとトランプを猛烈に攻撃し始める。

トランプが銃撃される数日前、バイデンは「私には一つ仕事がある。それはトランプをやっつけることだ。今やトランプを標的にし、いかなる犠牲を払ってでもトランプを止めねばならない」と身近な者に話したことが漏れ、ネット上に拡散している。討論会の劣勢を挽回するためなのか、非常に過激なことを言い選挙戦を続ける構えを見せている。警護隊長のチートルはバイデンの気持ちを忖度して警護の手抜きをしたのかもしれない。

長年にわたるトランプに対する執拗な攻撃は、民主党支持者の中に反トランプの過激分子を生むことになった。そして大統領選が近くなった現在、バイデンを降ろすべきか否か、代わりの候補はいるのか、民主党内部の混乱は極限状態に達している。さらにバイデンがトランプに対して過激な発言を繰り返している。超過激分子が「トランプを消す以外にない」と考えたとしても不思議ではない。



ブラジルに来たことを心から喜び感謝します

アラサトゥバ 8期 丸谷良守

南青協の皆様にはその後お変わりありませんか、恙なくお過ごしのことと思います。何時も遠くで御無沙汰しています。私においては神様のお恵みに守られ靈的にも肉的にも元気に過ごさせて戴いております。私は今年8月には86歳となり老境に至っております。背骨が酷く曲がっていて、左足の膝も少し痛みます。それでも当地にある文協のラジオ体操に週3度行ったり、また時々知人を訪ねて自転車で行ったり、人の送り迎えを車ですたりしています。段々人生の限界に近づいているのは分っているのですが返ってその様に身体を動かしている方が健康に良い様に思います。

当地アラサトゥバに来て早24年になり、歳月の過ぎ去るのは早いものです。又日本から来て早63年の歳月が過ぎんとしています。私がブラジルに着いたのは23歳の時でした。人生は長いようで短いものです。ブラジルに来て直ぐの頃青年隊の基地で訓練を受けていた時、経験も無いのに馬に乗って合図しても止まらず、落馬した時には死ぬのではないかと思ったが助けられ、護られてきた生涯を思い出し、不思議な神の御守りとお助けとお導きを戴き、ただ感謝あるのみです。聖書は私共に生まれる時が有り、死ぬときがあると定められていると教えられています。つまり神様は各人に定められていると教えられています。私はブラジルに来た事を心から喜び感謝する者です。

何故なら万物の造り主、又人間の造り主、真の生きる神を知り信じ従う事が出来るようになったからです。これは全て神の恵みです。この全宇宙の作り主であられるイエス・キリスト様を知る為の聖書を船中で戴いた事も又神の深いお導きの賜物だったのです。

私は28歳の時サンパウロに住みトヨタ自動車に勤め始めた当時イエス・キリスト様を信じ受け入れ私の生涯が全く変えられた事を思い、廻らすものです。その後ブラガンサ・パウリスタ市近郊の神奈川農場の運転手として3年間働きました。その当時神のお救いに与っていたので、昼も夜も喜びと感謝と賛美を持って生活していた事を思い出します。

あの時サンパウロ市に向かって農場の出荷物を運んでいる時、急に馬が飛び出し私の運転する車に衝突寸前で馬が止まったので助かった事も有りました。人生は山坂があります。又人間関係の難しさもあります。又人生の終わり、此の世の旅路の終幕を迎えんとする我々には夫々の不安もあることでしょう。しかし私はただただ神様に感謝しその聖名を褒め称える物です。何故ならば視の恐れから解放されているからです。

聖書のヘブル書2章14～15節には其処で子たちは皆血と肉とを持っているので、主もまた同じ様に、これらの物をお持ちに成りました。これはその死によって悪魔と言う、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人々を解放して下さるためでした。

私も18歳より28歳迄10年間の時に私の心中をこの死の恐怖が支配しブラジルに来る前は自殺まで考えた事もありました。しかしこの様な心境にあった私をも神は省みて下さりブラジルにお導き下さり、この素晴らしい聖書の聖言の御約束に与えらせて下さいました。

それ故に救いの喜びに感謝と賛美が耐えない日が続来しました。しかし今迄の救いの後の人生にも幾多の難しい時を通されましたが不思議な事も多々ありました。証を書けば長くなりすぎるので茲で止めます。

今回書いているのは今年の年会費200レアイスを2024年6月17日にブラジル銀行より振込み送金のお知らせするのが目的です。しかし私の喜びは私達と万物の造り主なる主イエス・キリストの救いの証しする事です。何故なら此れが人生にとって一番大切な事である事を、身を持って体験しているからです。

聖書のローマ書10章9～10節には何故ならもしあなたの口でイエスを主と告白し、貴方の心で神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。



九期生片岡高一さんのアミーゴ

ジュンジアイ 9期 荒木昭次郎

2022年まで住んで居たベロオリゾンテ市から、息子夫婦と孫二人が住むここサンパウロ州ジュンジアイ市に移転して、初めてアパートに住んでいます。これまで住んで居たベロ市では一軒の家屋に住んでいましたが、友人の話しではアパート住まいも便利で良い事も多くありますよ、との事で今度アパートに住んで、確かに防犯については安全、それに近くにスーパーマーケット、各商品店などがあって大変便利に感じています。

また長寿を迎えた我々には、息子夫婦と孫達が近くに住むので親族のいないブラジルでは多いに安心して暮らし続けられる所で、妻と共に満足しています。

次に偶然に出会った事に付いて書きます。先日PCの調子が悪く、それに印刷機も働きが悪くなったので、と云っても使用する古老が使いこなせなかったのかも知れませんが、近くにある修理店に行って色々指示を受けるなどの話しをして両機とも新しいのに買い替えて使っています。

店の主人はネリオ氏と云う名の人で話のついでに、私はブラジル各地に建設されたダム工事に働いたと話したら、ネリオ氏も彼の父「イナッシオ・フェルナンデス・デ・ソウザ」も各地のダム工事に働いたとか、特にタカイチと言う日本人と何時も一緒に働いたと聞いていたそうです。

タカイチさんから各仕事のやり方とか効率良く早く仕上げる事などを仕込まれたとか、特にイタイプーダム工事を父から良く話を聞いていたそうです。そのタカイチさんは時々訪ねて来てくれたとか、そんな事が良くあったそうで、子供の時代だった彼も思い出があると言っていました。

私はそれを聞いて驚き、「イタイプー工事に働いたタカイチさんは私の旧友の片岡高一さんで、日本からの移住も一緒だった人で、特に建設工事については、特技を持っている人です」と云ったらネリオ氏もその偶然に大変驚いていました。

それからもいろいろ話し合い、出来たら貴方の父イナッショ氏に直接会って話を聞きたいと言いましたら、父はこの町で2019年に亡くなられたと言われ、大変残念に思い、タカイチさんに今度会う機会があったら話しておきますと言ったのでした。

私は片岡高一さんとは同期移住の青年隊（名簿248）の仲間、特にイタイプー工事ではニッケイ新聞に載った「国家事業を救った8人の侍」での侍仲間の一人で、特に彼の仕事振りは臨機応変に仕事を仕上げ、工事施工には大いに成果を上げて名前が知られ、工事を実行する下請け会社等から良く呼ばれて仕事をしていました。

ついでにもう一人のことで、私の住んで居るこのアパートについてですが、管理は管理会社が受持っており、責任者としてマルコス氏が常駐して管理されています。先日彼と話し会ってしまして彼の生れはペルナンブーコ州との事でしたので、私も同じ州のサンフランシスコ河に沿った奥地の町に建設されたイタパリッカダム（ルイス・ゴンザガ氏の名になったダム）工事に働いたと言いましたら、彼は、私はその水没して、新しく出来たペトロランジャ町で生まれましたとの事でした。私達がダムの建設に行った当時は古い町は全部水没するので、新しく出来た町にすでに全員移動していました。

彼マルコスさんは家族と一緒に移動しましたが、家族と別れ、サンパウロの親戚を頼って住んで勉強を続け、その後この地に戻り管理会社に採用されたとの事でした。その後時々会っては話し合い、

「Oh! Conterrâneo!」（オー・コンテハーネオ、や一同郷人）元気ですね、と云い笑い合っています。

【編注】ダム工事があった東北伯地方では「Oh! Conterrâneo!」を使っていたそうです。教えていただきありがとうございました。



1800メートルある世界最長のユクマンの滝

富士宮市 8期 志方進

こんな滝があるとは知りませんでした。ブラジルのリオ・グランデ・ド・スール (Rio Grande do Sul 南大河) 州の北西部のデルバーダス郡 (Município de Derrubadas) にあり、アルゼンチンとの国境を流れるウルグアイ川にあるのです。

対岸はアルゼンチンのミッシオネス州のサン・ペードロ郡です。

滝の名前はユクマンの滝または大滝 (Salto do Yucumã ou Salto Grande) とのこと。位置は西経約56度、南緯約27度です。

写真をご覧になってください。



なお、この滝には多くの別名があり次の通りです。

Salto de Iucumã,
Salto de Tucumã,
Salto Yocomá,
Salto de Moconá,

機会があったら、川は違いますが、この滝から直線距離で約200キロ北方にあるイグアスの滝も含めて見に行きたいと思っています。



昔、イグアスの滝を見たルーズベルト大統領の夫人が「可哀そうなナイアガラの滝」と言ったそうですが、この滝なら何と言うのでしょうか。

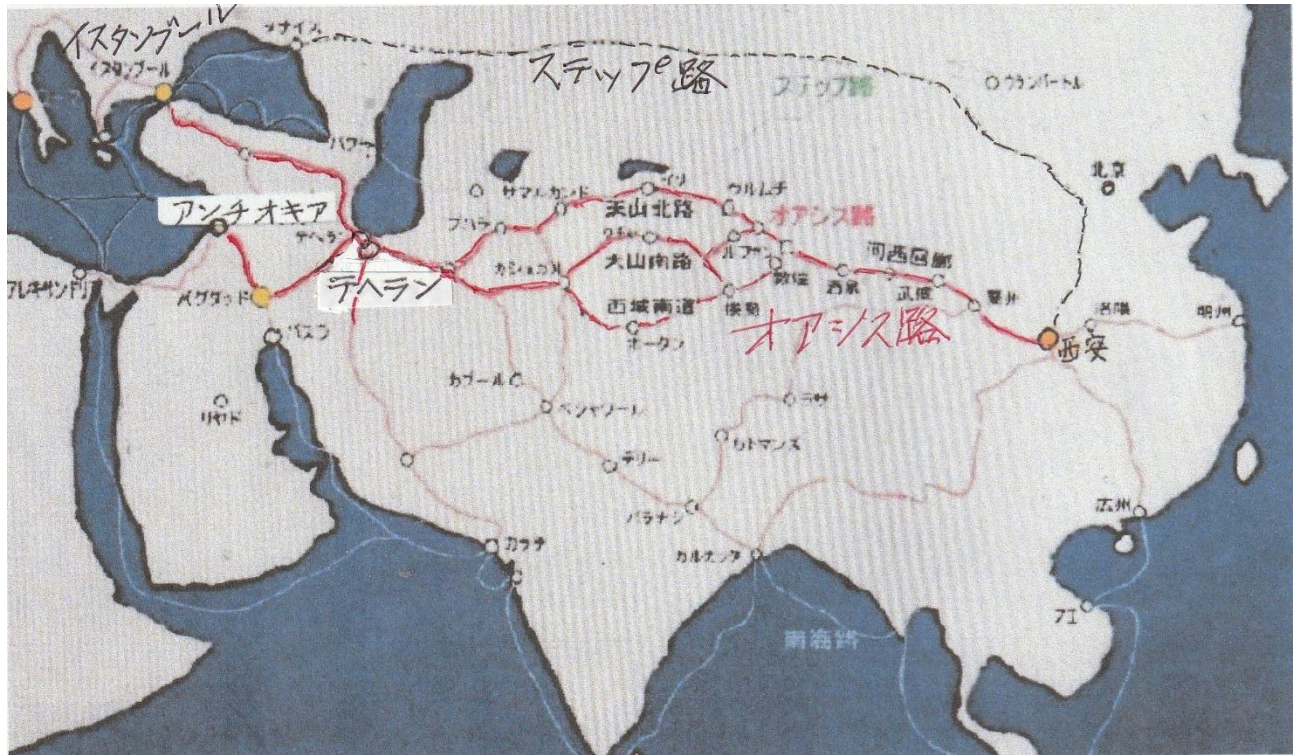
次頁は全体写真です。



この写真は雨季で左側水量が多いため落差が少ないようです。



シルクロードは西安からアンチオキアまたはイスタンブールへ向かう道で初めに北側のステップ路が使われ、次にオアシス路で、その後海路が出来たそうです。



オアシス路には天山北路、天山南路と西域街道があるのがこの地図で分かりました。中国の商品はアンチオキアからは船でヨーロッパ各地へ運ばれたそうです。逆に、ヨーロッパ各地からの商品もここから中国へ運ばれました。

次ページにネットで見つけた商品の記事を転載します。



シルクだけじゃない！シルクロードの商品

シルクロードで運ばれた物資は、基本的には東から西へと移動していました。道路の名前から見てわかる通り、絹はキャラバン商人達の主要な商品でした。軽くてコンパクトで、需要が多く、価格も高いため貿易や長距離輸送には理想的でした。中世には、ヴェネツィアの商人マルコ・ポーロがキャラバンルートシルクロードと名付けました。しかし、実際に1877年に彼の代表的な著作『東方見聞録』で「大シルクロード」という言葉を使ったのは、ドイツの研究者フェルディナンド・リヒトホーフでした。

シルクロード開発の初期段階では、中国は高価な馬、またはルツェルンやブドウの種を受け取っていました。中国より東では太古の昔からブドウの木が栽培され、ワインが作られていました。しかし、ユニークな文明を持つ中国人にとってブドウは目新しいものでした。こうして米だけでなく未知の果実からもワインができることを知り、中国の使者たちは非常に驚きました。後に中国人は、インゲン豆、玉ネギ、きゅうり、にんじん、ザクロ、イチジクなどの他の農作物を持ち帰りました。

絨毯、カーテン、毛布、敷物など、様々な毛織物が中央アジアや東地中海から中国に伝わってきました。これらは羊毛や亜麻の加工方法、絨毯の製造や織り方を知らなかった中国人に大きな印象を与えました。古代中国で特に高く評価されたのは、パルティアのタペストリーや絨毯でした。中央アジアは、中国で高く評価されていたラクダ、軍需品、金銀、半貴石、ガラスなどを輸出していました。サマルカンドで生産されたガラスは、その品質の高さから特に高く評価されました。その他の商品は、皮、羊毛、綿織物、金の刺繍、スイカ、メロン、桃などのエキゾチックな果物、羊、狩猟犬、ヒョウ、ライオンなどでした。

中国からは、雪のように白い花瓶や器、グラス、優雅な文様の皿など、数々の磁器が運ばれていました。中国人だけが、この磁器を作る秘密を持っていたので、ヨーロッパの市場では非常に高価で取引されました。この金属を使った青銅製の装飾品やその他の製品、装飾的な青銅製の鏡、傘、漆製品、薬、香水なども人気がありました。当時、中国の技術の結晶である紙も非常に高く評価されました。金、皮、その他多くのものも輸出されました。商人たちは茶や米、毛織物や亜麻布、珊瑚、琥珀、石綿なども運んでいました。その他にもキャラバン商人たちは象牙、サイの角、亀の甲羅、香辛料、陶磁器や鉄製品、油薬やシナモン、生姜、青銅製の武器や鏡などとユニークな商品を多く取り扱っていました。

インドは織物、香辛料、半貴石、染料、象牙で有名でした。イランは銀製品でよく知られていました。ローマは香辛料、香料、宝石、象牙、砂糖などを受け取り、ヨーロッパの絵画や高級品を送っていました。東欧は中央アジアから米、綿、毛織物、絹織物を輸入し、多くの皮、毛皮、毛皮動物、皮加工用の樹皮、牛、奴隷をホラズムに輸出していました。北欧は毛皮、皮、蜂蜜、奴隷の供給源でした。 (<https://www.advantour.com/jp>)



シルクロードの始点・終点であるアンチオキアは現在のトルコのアンタキヤです。アンタキヤの旧名アンチオキアは、紀元前4世紀にセレウコス朝シリアによって建設されたヘレニズム都市で、セレウコス朝の首都として繁栄をきわめた。紀元64年にローマ帝国によって征服された前後から、初期キリスト教の布教の拠点になり、のちに五大総主教座(五本山)の一つとされた。五本山はローマ、コンスタンチノーブル、アレクサンドリア、エルサレム、アンチオキア教会です。

その後徐々に衰退し7世紀にイスラム帝国の手に移って以降、北シリアにおける政治・経済・宗教の中心は内陸のダマスカスやアレッポに移った。

その後、東ローマ帝国、セルジューク朝、アンチオキア公国の支配を経て、1286年にマムルーク朝が征服。イスラム教の支配のもとでアラブ化・イスラム化が一層進展した。

1516年には、オスマン帝国がマムルーク朝を倒してシリア地方を征服した。オスマン帝国のもとでアンタキヤはアレッポ州の一地方都市となり、トルコ人の多い北のアナトリア方面との関係から、トルコ系住民も流入した。



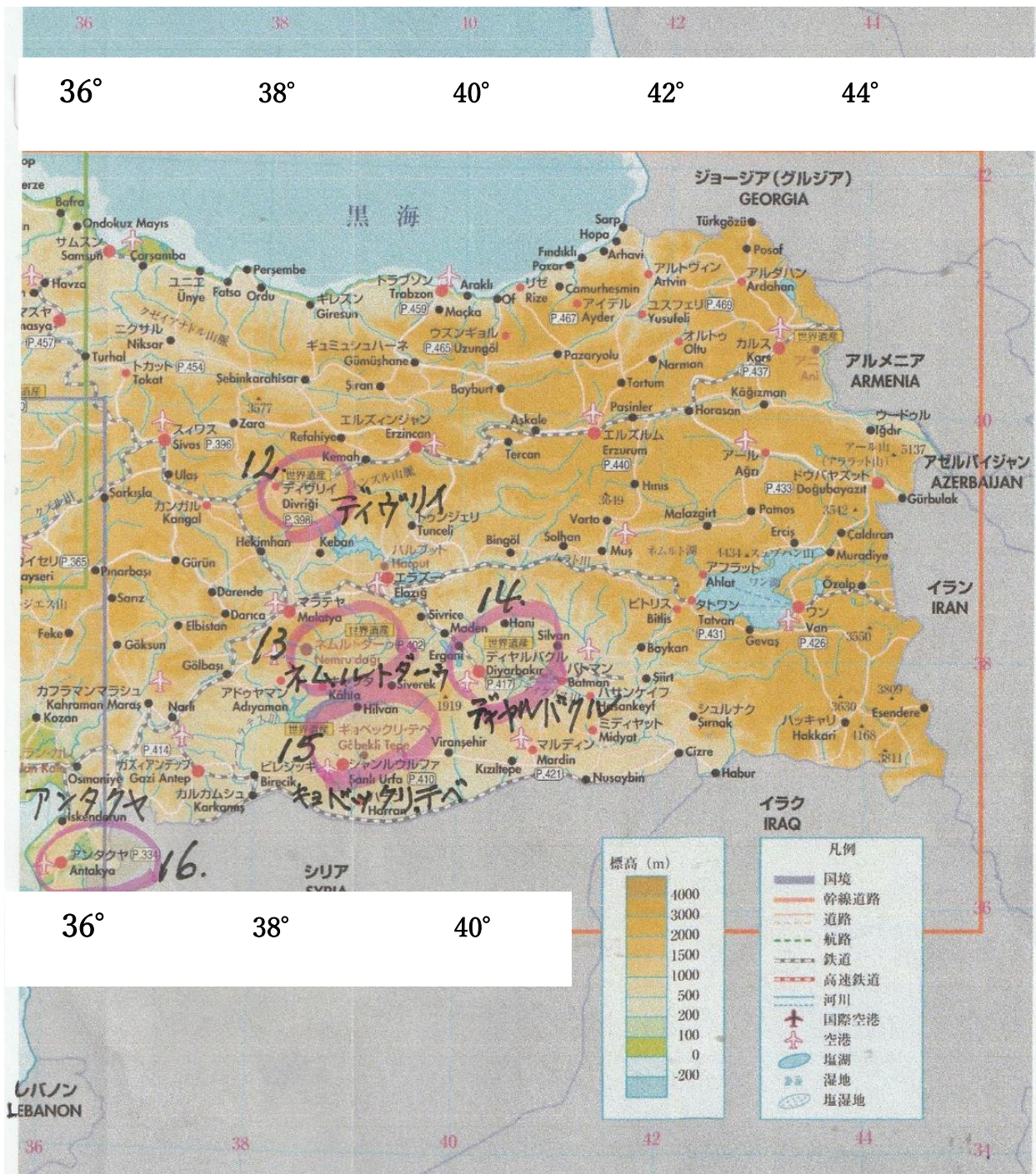
コンスタンチノーブルは現在のイスタンブールのヨーロッパ側の市内南部に遺跡があります。もう一度ゆっくり行きたいです。



行ってみたいトルコの地図(次ページに東側)と15の世界遺産



日本に来るときに通ったトルコにある世界遺産を調べましたので、写真を掲載するために番号を付けました。



16番のアンタクヤ（アンチオキア）は世界遺産ではありませんが、シルクロードの始点兼終点なのでマークしました。次ページからに、トルコの15の世界遺産がある各地の代表的建造物の写真を番号順に掲載します。

1. エディルネ 1453年までオスマン帝国都のセリミエモスクの外観と天井



2. トロイ (Troy) の木馬、集落の出来始めは紀元前3000年頃とのこと。



木馬を引いている想像絵



現在は梯子で中に入れる

3. イスタンブール (Istanbul) : ヨーロッパとアジアの架け橋と言われる。ロシアとウクライナが面する黒海から流れて来るボスポラス海峡(幅約7百~2千メートル)によりヨーロッパ側とアジア側に2分されている。



ガラタ塔(高さ67メートル、6世紀初めに灯台として利用されていたものを、14世紀にジェノヴァ人がビザンツ帝国への監視塔に改造したと考えられている)から見た金角湾。新市街(手前側)と旧市街(奥)。左側にボスポラス海峡とアジア側の一部が見える。旧市街にはコンスタンチノーブルの遺跡と多くのジャーミー(イスラム教の礼拝堂)がある。



イスタンブール市内のアヤソフィア博物館

4.ブルサ(Bursa)：標高2 5 4 3 m.のウル山(Uludag)の麓に広がる自然豊かな町、緑のブルサとも呼ばれ親しまれている。1 3 2 6年セルジューク朝からブルサを奪ったオスマン朝はここを最初の首都にした。

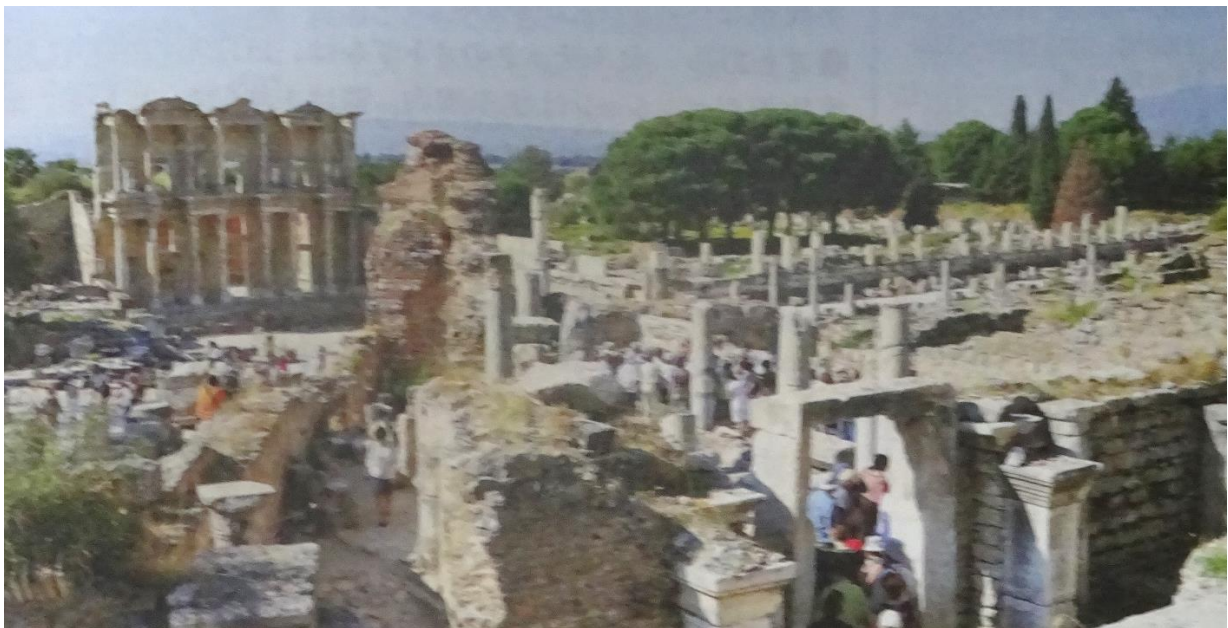


無形文化遺産のカラギョズ(karagöz)：トルコの影絵人形劇

5.ベルガマ(Bergama) : 紀元前3～2世紀頃 ベルガモン王国の首都だったベルガマのトラヤヌス神殿跡。



6.エフェス(Efes) : 古代ギリシャの大都会。誰もがその広さと保存状態の良さに驚くとのこと。道路、図書館、劇場、トイレ、娯館の看板などがある。



スコラスティカの浴場から眺めるケルスス図書館

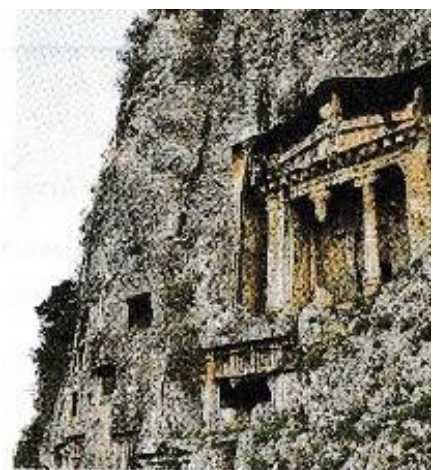
7.パムッカレ(Pamukkale)：パムッカレは「綿の城」という意味をもつ温泉保養地。珍しい石灰棚は世界遺産に登録されている。なお、石灰棚を望む丘の上にはベルガモン王国やローマ時代の遺跡が広がっている。



8.フェティエ (Fethiye)：考古学博物館の南500メートルほどの山腹にリキヤ式岩窟墓のなかでも極めてすばらしいといわれる岩窟墓がある。ヨットハーバー近くにはローマ時代の劇場が残り、町の南側高台には十字軍の城址がある。

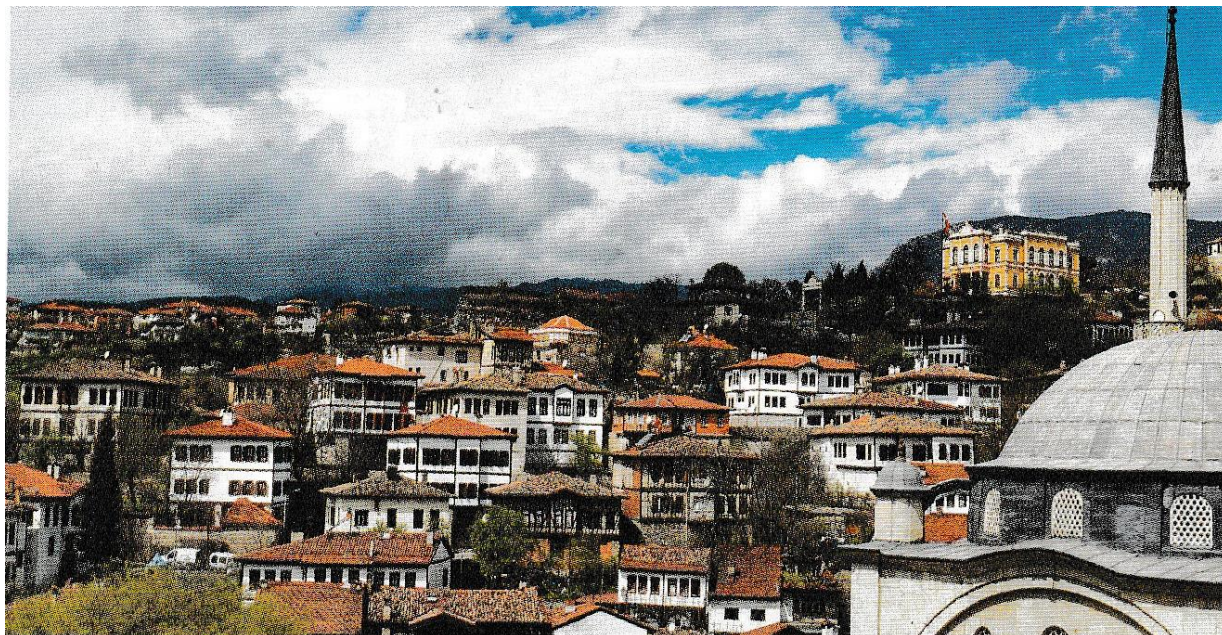


フェティエ近郊オリュデニスの海岸線



岩肌にへばりつく岩窟墓

9. サフランボル(Safranbolu) : この地にサフランの花が群生していたことから名付けられた小都市。昔ながらの民家が数多く残されており、土壁に木の窓枠が並んだ独特の木造家屋には今も人々が暮らしている。



10. ボアズカレ(Bogaz Kale) : 今から4500年以上前の紀元前25世紀頃、この土地にはハッティ人といわれた人々が暮らしていた。その後インド・ヨーロッパ語族の一派が移動し、ハッティ人を支配して、このあたりに住み着いた。



彼らこそが史上初めて鉄器を使用し、大帝国を築き上げたヒッタイト人であるとのこと。現在も広大なエリアにヒッタイト王国の栄華を物語る遺跡の数々が広がっている。

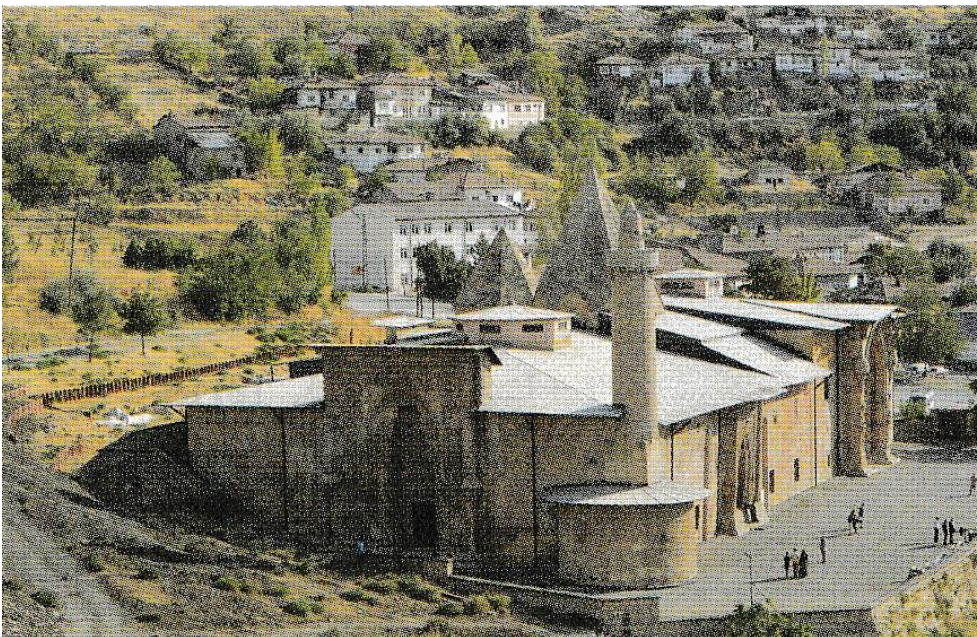
ヤズルカヤに残る12人の黄泉(こうせん)の国の神々が行進するレリーフ

1 1.カッパドキア(Kapadokya) : アナトリア半島の中央部に広がる大奇岩地帯。キノコ状の岩に代表される奇岩の不思議な景観、奇岩の中に残された膨大なキリスト教壁画、地下何十mにも掘り下げられた地下都市がある。



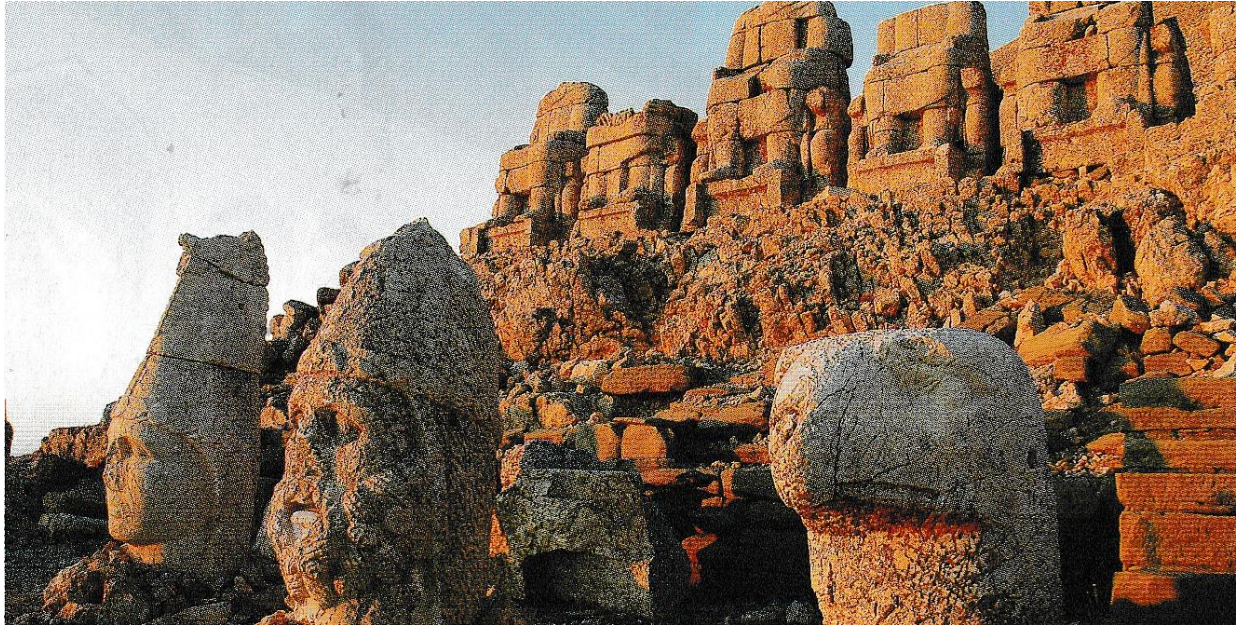
1 2. ディヴリイ(Divrigi) : スイワスの南東約100kmにある小さな町

周辺には鉄鉱石の鉱山が多く、近くに製鉄所がある。 この写真のウル・



ジャーミー
(イスラム教
礼拝堂)は1
229年に
メンギュジ
ュク朝のス
ルタン、ア
フメット・
シャーが建
てさせた。

13. ネムルトダーウ(Nemrut Dagi ネムルト山) : 標高2150mの山頂に世界遺産に登録された巨大な神像が並ぶ。これは紀元前1世紀に、この地方を支配したコンマゲネ王国のアンティオコス1世の墳墓。



14. ディヤルバクル(Diyarbakir) : ディヤルバクルは全長5.8kmの城壁で囲まれた町。城壁の長さは万里の長城に次いで世界第2位を。メソポタミア文明を生んだティグリス川上流にあり、古くはアミダ Amida またはアーミド Amid と呼ばれた。



15. ギョベックリ・テペ(Gobekli Tepe) : 巨石が円環状に並んでいる遺跡は9千年～1万年前の神殿跡と考えられている。



以上がトルコにある15の世界遺産です。



【編集委員メールアドレス、ご連絡用電話番号】

そ が よし なり
曾我義成 ysoga@rimobloco.com.br 事務所(Escritório) 11-4057-2377
携帯(Tel. Celular) 11-97120-0863

ぼんこはらくにひこ
盆子原国彦 kbonkohara@live.jp 自宅(Residência) 11-3721-1127
携帯(Tel. Celular) 11-97431-9994

おさだたかとし
長田譽歳 takatoshi.osada@gmail.com 自宅(Residência) 11-5563-6929

はやかわかずみち
早川量道 kazumichihayakawa43@hotmail.com
携帯(Celular)15-99778-3107

しかたすすむ
志方進 ssshikata@gmail.com 日本では 070-9087-8862

皆様ふるってご投稿ください。ご投稿を受信しましたら、着信通知を発信しておりますが、ご投稿の到着を確認してください。

ご意見、ご提案、お叱りなどもお寄せください。

【次号予定、お願い】

次号は10月上旬に発行予定です。

ご投稿は9月22日(日)までにお願い致します。

【編集後記】

チャンスがあったらユクマンの滝を見に行きたいです。

昔(62年前に)見たイグアスの滝ももう一度見たいです。

今号もご投稿をありがとうございました。

皆様どうぞお元気でお過ごしください。